



3

6年生総合学習 「土肥小ユニセフハウスをつくろう」

報告者 静岡県伊豆市立土肥小学校 教諭 小柳出 充子 先生

活

動のポイント

本校は、天城の山々に囲まれながら、伊豆半島西部の海岸に面し、晴れた日には、駿河湾の対岸に静岡市清水の町を望むことができる自然豊かな環境にあります。残念ながら年々少子化が進み、7学級、全校児童113名の小規模校ですが、「豊かな心を持ち高め合うなかま」を学校教育目標、「学び合い支え合いきたえ合い」を重点目標とし、小規模校ならではのよさや地域の特色を生かして、教育活動を進めています。

本校の6年生は、例年、6月に東京方面への修学旅行を行い、その後の総合学習へとつながる施設を見学しています。平成24年度は、「国際理解」を1学期末から2学期の中心テーマとするため、募金活動で名前はよく知っているユニセフの施設である「ユニセフハウス」を見学しました。

本校は、11月に保護者や地域の方を招待し、「びわっ子フェスティバル」という、学習の成果を発表する場を設けています。そこで、6年生は、「土肥小ユニセフハウス」を作り、学習したことを発信しながら、募金を呼びかけることにしました。

実

践

(1) 総合的な学習の時間「土肥小ユニセフハウスを作ろう」学習の流れ

○毎年児童会が「ユニセフ募金」を呼びかけているけれど、「ユニセフ」って何だろう？



○修学旅行に行って、ユニセフハウスを見学しよう。



○事前学習

・銃のレプリカやテントが展示してあるよ。何でだろう？



○ユニセフハウスの見学

- ・ユニセフは世界中で活動しているんだな。
- ・世界の子どもたちの中には、安全でない水を飲んでいる子がいるんだ。
- ・学校に行けない子もいるよ。
- ・水くみが大変そうだな。水がめは重いな。子どもがやるなんて大変だ。
- ・子どもが銃を持って戦うなんてひどいな。地雷はこわいな。
- ・ユニセフは、子どもを助ける活動をいろいろな地域でたくさんやっているんだ。
- ・日本も助けてもらっていたのは初めて知ったよ。



チームに分かれて、世界の子どもたちや「ユニセフの活動」について詳しく調べよう。



- | | |
|------------|----------|
| ○ユニセフ紹介チーム | ○水と衛生チーム |
| ○貧困チーム | ○地雷被害チーム |
| ○児童労働チーム | ○教育チーム |
| ○栄養チーム | |



調べたことを、びわっこフェスティバルの「土肥小ユニセフハウス」で伝えよう。



保護者や地域の方、全校に募金を呼びかけて、ユニセフの活動に協力してもらおう。

(2) 修学旅行にてユニセフハウスの見学

① 事前学習

ユニセフハウスのホームページで、見学コースや、展示内容を確認したり、ユニセフの活動について調べたりしました。

② 見学当日

最初に全体でビデオを視聴したり、資料の説明を聞いたりして、世界の子どもたちの現状について学習しました。子どもたちは初めて知ることも多く、映像で見る世界の子どもたちの生活の様子に衝撃を受けている様子でした。その後グループごとに各コーナーを見学しました。ユニセフの仕事について、実際に支援活動に使っている道具や資料を通して、具体的に学ぶことができました。





(3) 土肥小ユニセフハウスを作ろう

ユニセフハウスを見学して分かったことや考えたことをもとにして、各自が課題を作り、チームに分かれてさらに調べ学習を進めました。調べ学習を進めるにあたって、ユニセフのホームページに掲載されている各種資料の他に、「ユニセフ手帳」「ユニセフと世界のともだち」「地図でユニセフ」といったユニセフから頂いた資料が大いに役立ちました。また、貸し出し教材である、水がめ、地雷レプリカ、カンボジアキットに添付されていた資料も利用させていただきました。

調べたことは、チームごとに、紙芝居やクイズ、ポスターにまとめ、「土肥小ユニセフハウス」で発表しました。来てもらった人に楽しく、分かりやすくユニセフの活動について学んでもらえるように工夫している様子が見られました。貸し出し教材の水がめや地雷レプリカ、カンボジアキットの布製教材や教科書も、来場した人の関心を集めていました。

当日は、保護者や地域の方のみ、その場で募金を受け付けました。すると、子どもたちの発表を聞いて賛同してくださった方々が、予想以上に多くの募金を寄せてくださいました。

その後、校内でもユニセフの募金袋を配布し募金活動を行ったところ、例年より多くの募金が寄せられました。土肥小ユニセフハウスの発表によって、他の学年にユニセフ募金の意義が伝わったようでした。募金総額のお知らせとお礼は、学校だよりや、各学級での報告を通して行いました。

(各チームの発表内容)

チーム名	発表方法・資料等	発表の内容
ユニセフ紹介	紙芝居 クイズ	世界で困っている子どもたちの現状 ユニセフの様々な支援活動
水と衛生	クイズ 水くみ体験	きれいな水やトイレが自由に使えない人々 子どもが行う重労働である水くみ
貧困	ポスター クイズ	貧困とは何か 貧困の原因 世界で貧困率が高い国々
地雷被害	地雷レプリカ・資料 クイズ・ポスター	地雷の恐ろしさ 撤去方法やその費用
児童労働	紙芝居	働かされていた少女が、ユニセフの支援活動により、学校に行けるようになった実例

教育	紙芝居 クイズ カンボジアキットの資料	学校に行けない（教育を受けられない）子ども 学校へ行けるようにするユニセフの支援活動 世界の学校の現状
栄養	紙芝居 クイズ	世界の栄養不足の子どもたちの現状とユニセフの支援活動

土肥小ユニセフハウスの様子



まとめ

「ユニセフ」という名前を、児童会の募金活動で知っていても、実際に何をやっているのかはよく分からなかった子どもたちが多かったのではないかと思います。しかし、ユニセフハウスの見学をしたり、その後さらに調べ学習をしたりする中で、世界には様々な困難を抱えている子どもたちが数多く存在していることや、それを支援（救援）するためにユニセフが大変重要な役割を果たしていることを学ぶことができました。また、自分たちの募金が、実際にユニセフにおいてどのように使われているのかを具体的に知ることで、自分たちの活動が、土肥から世界の子どもたちを救うことへとつながっているのだという実感をもつこともできました。本校の学校教育目標の重点である「支え合い」は、自分たちの身近なところだけでなく、世界で広く行われていることを忘れないでほしいと思います。